

位置図



事業概要

開始年度	平成21年度
事業延長	L=640m
事業内容	左岸遊歩道 L=490m
	右岸遊歩道 L=150m
	階段護岸 L=110m
	緩傾斜護岸 L=150m
	ステージ広場 L=650㎡

地域の声

住民やここに訪れる人のいこいの場となった。

事業経緯

入間川における川の再生検討会

- ・第1回 (H21.7.30)
- ・第2回 (H21.9.30)
- ・第3回 (H21.11.20)
- ・第4回 (H22.3.17)
- ・第5回 (H22.11.4)
- ・第6回 (H23.3.18)

検討会メンバー

沿川自治会(3地区)、飯能市観光協会、
名栗川協力会、飯能商店街連盟、
入間漁業組合、飯能市、県



測量・設計 (H21.5～H23.5)

地域活動

- ・飯能地区まちづくり推進委員会: 清掃等環境保全活動
- ・飯能河原を守る会: 清掃活動、(行楽シーズン)河原内見守り
- ・飯能市が毎年8月に飯能河原の環境を守るキャンペーンを実施

工事 (H22.3～H23.10)

整備の状況

整備前



水辺を楽しむことができない。
(H21.7撮影)

整備後



親しみやすい水辺が誕生しました。
(H22.8撮影)

水や生物と親しむことができ、水際に近づける場所の創出

- ポイント①: 飯能河原の“自然環境と良好な景観”を守り、育てる
- ポイント②: “清流”の復活を目指す
- ポイント③: 地域と共生する“にぎわいの場”の形成を目指す
- ポイント④: “誰でも利用しやすい、安全な”飯能河原の河川空間づくり

★: ビューポイント

平面図



ステージ広場と階段護岸

イベント時には催しを行う拠点、平常時には眺望の場として利用できるように散策路の前面に木製のステージ広場を設けました。また、ステージの川側には、緩傾斜の階段護岸を整備しました。



河原と左右岸をつなぐ通路

河原との行き来がしやすいよう、歩行者用の橋を改良しました。



水辺を散策できる通路

飯能河原の回遊性を高めるために、川岸に散策路を整備しました。

